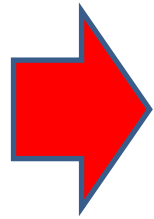


ミニレクチャー

【研修企画のコツ】

～国立保健医療科学院では研修を
どのように企画・運営・評価しているか～

国立保健医療科学院
生涯健康研究部
横山 徹爾



• 企画・立案

• 運営・実施

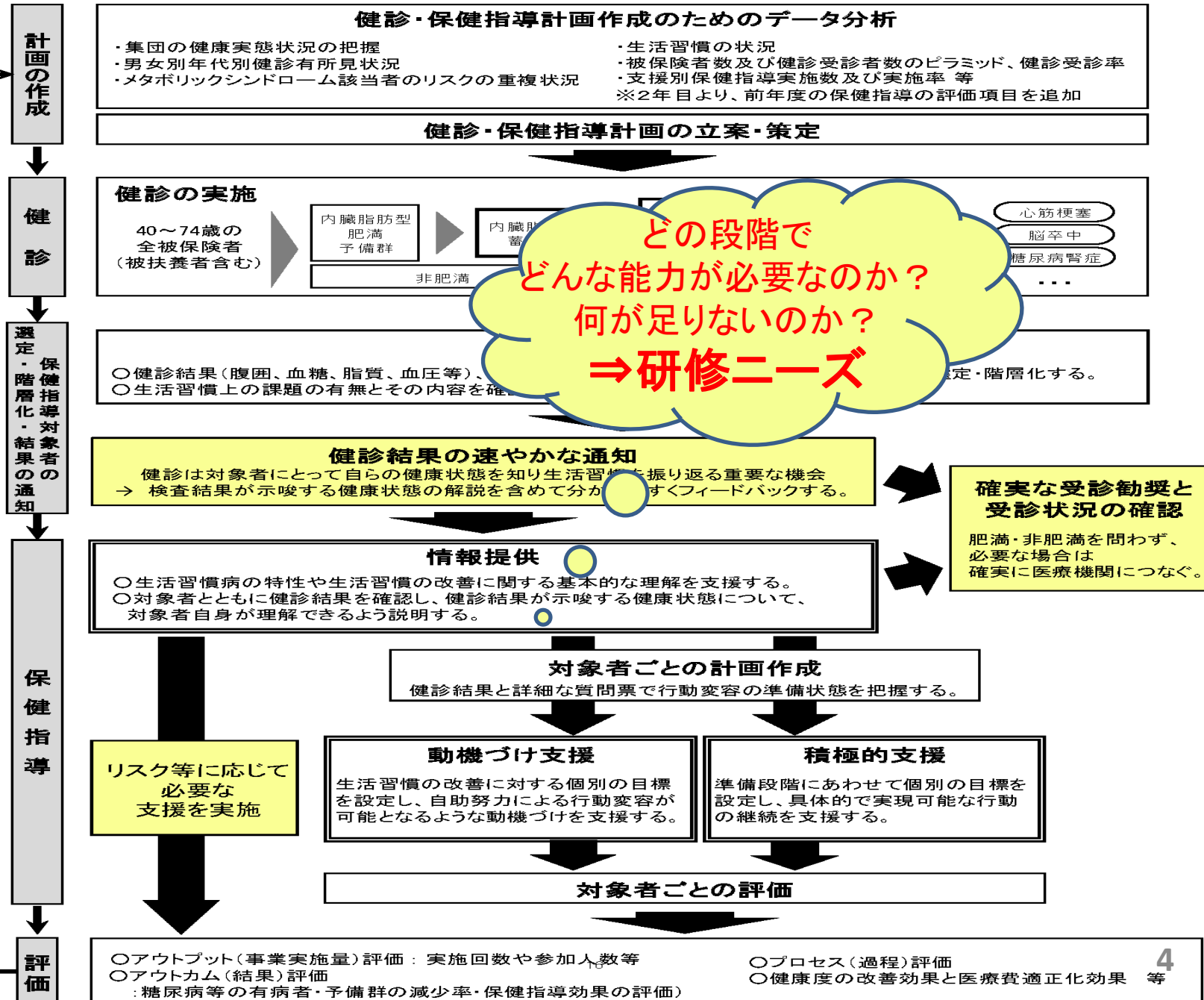
• 評価・見直し

ニーズ把握と研修企画・立案

- 集団の課題に基づくニーズ把握
 - 研修ニーズ (needs)
 - 健康施策・事業を効果的に進めるために**真に必要なこと**。
 - 受講者はニーズに**気づいていないこともある!**
 - 健康施策・事業全体の**PDCAサイクルに基づき把握**する。
 - 施策全体の**どの部分がうまくいっていないのか?**
 - その**改善のために必要な人材と能力は?**
 - (注) デマンド (demand)
 - 受講者の**要望**。必ずしもニーズ=デマンドではない。

標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】

評価に基づいて見直し、次年度計画を立てる



国立保健医療科学院からみた研修ニーズ

(生活習慣病対策健診・保健指導に関する
企画・運営・技術研修(事業評価編))

- 特定健診・特定保健指導事業において、PDCAサイクルのうち、C-Aがうまく繋がっていない保険者が多い
 - 評価方法がわからない
 - 評価方法はわかっても、データ集計ができない
 - データ集計はできても、読み解き方がわからない
- 研修ニーズ
 - 評価方法の理論提供
 - 評価体制の整備
 - データ集計技術を持つ機関等による支援
 - 読み解きの練習
 - 評価計画の作成練習

研修の企画・立案(1)

- 参考事項 (参考資料1-1)
- 初回企画時、および大幅改定時
 - ① 研修開設の**必要性**
 - ② 研修のこれまでの**実績成果**
 - ③ 対象とする受講生の所属別総数と**推定応募者数**
 - ④ 研修の**継続計画**
 - ⑤ 研修実施の**周知方法**、定員をみたま受講生の獲得にむけての計画
 - ⑥ 他機関の研修との**違い**、院内の研修との違い

研修の企画・立案(2)

- 概要整理様式(参考資料1-2)
- 下記の項目について概要を整理する
 - 研修名(予算区分)
 - 主任、副主任
 - 厚労省関係課・室
 - 研修期間
 - 研修方法(集中型・分離型、講義・演習、等)
 - 定員(前回修了者)
 - **対象者・受講資格**
 - **GIO:一般目標**
 - **SBOs:到達目標**
 - 修了要件

一般目標(研修目的)

(GIO: General Instructive Objectives)

- 研修修了時に期待される成果をしめしたものを「一般目標」、または「研修目的」(GIO)と呼ぶ。
- 現実に即し、理解可能で、かつ達成可能なものである必要がある。
- 研修受講者が主語で書かれ、「理解する」、「修得する」、「身につける」といった動詞を用いて記載する。

到達目標

(SBOs : Specific Behavioral Objectives)

- 研修修了後に「研修の目的」(GIO)を達成したことを示すために、研修者は**何ができるようになるのか**、あるいはどのようなことができるようになる**か**、あるいは**どのよう**なことを**できる**に**よ**うに**な**れば**よ**いかについて、**具体的**、**各論的**に **観察可能な行動**として示したものを「**到達目標**」(SBO)と呼ぶ。
- 研修受講者を主語として、**概念的な動詞**ではなく、**観察可能な行動を具体的に表す**ような、「**説明できる**」、「**列挙できる**」、「**示すことができる**」といった動詞を用いて記載する。

- **一般目標(平成26年度)**

- 各医療保険者が行う「特定健診・特定保健指導」事業の**評価を支援**する、または**広域的な評価を実施**することができる。

- **到達目標(平成26年度)**

- 1. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業の**評価**」を**支援**することができる。
- 2. 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業」を踏まえて、**地域(都道府県)レベルでの事業の課題を把握し分析**することができる。
- 3. 地域(都道府県)レベルでの特定健診事業・特定保健指導事業の**課題を改善**するための**支援**や、**行動計画の検討・企画**及び**保険者との調整**をすることができる。

• 対象者、受講資格(平成26年度)

- 下記の者のうち、研修時にこれまでに行った事業評価支援または広域的な評価の結果、及び次年度の同計画の提出が可能で、全日程出席できる方。
- (1) 都道府県で特定健診・保健指導において市町村支援に携わる方
- (2) 都道府県等の保険者協議会および地域・職域連携推進協議会等において評価に携わる方
- (3) 医療保険者(国レベル団体及び都道府県支部、政令市等)において評価に携わる方

研修の企画・立案(3)

- 実施計画表 (参考資料1-3)
- 研修の全体構成、GIO, SBOsと対応
 - 科目及び講義課題
 - 講師
 - 時間数と形態(講義、演習等)
- これをベースにしてプログラム(時間割)を作成していく

• 具体的な実施内容

– 科目及び講義課題

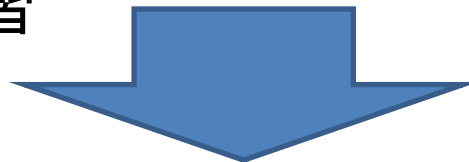
- 到達目標(SBOs) に対応して必要な科目を決める

– 講師

- 当該科目に必要な講義ができる人を想定
 - 例) “事業評価の総論を話せる研究者”
 - “具体的な分析データを示せる国保連合会”
- 具体的な講師名をあげる

– 時間数

- 日数、時間数
- 講義、演習



最終的なプログラム(時間割) (参考資料2)

院内手続き

- 事前調整

- 厚労省担当課・室
- 科学院担当者
- 科学院幹部(初回のみ)

- 短期研修委員会・分野別小委員会

- 検討、修正要求

- 短期研修委員会

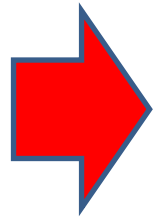
- 審議、承認

- 教務会議

- 審議、承認

- (1) 概要整理様式
 - (2) 実施計画表
 - (3) 参考事項
- について。
(最終的なプログラム
(時間割)は不要)

- 企画・立案



- 運営・実施

- 評価・見直し

広報

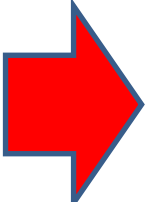
- 研修募集要項(小冊子)
 - 対象、日程、定員等の概略、全研修一覧
 - 自治体で次年度予算計画ができるように9月日途に全国自治体へ送付
- 科学院HP
 - 詳しい募集案内、随時更新
- 科学院からの通知
 - 応募が想定される自治体等の関連部署へ、各研修の募集開始の少し前に最終案内送付
- 厚労省担当課・室からの各種案内
- 学会等で宣伝

実施体制

- 主任、副主任
 - 厚労省担当課・室と協議しながら、研修の企画・立案・運営・評価
 - 個別講義・演習運営等
- 厚労省担当課・室
 - 研修の企画・立案・運営・評価に関する協議
 - 個別講義・演習支援等
- 外部講師
 - 個別講義・演習支援等
- 研修・業務課
 - 事務的作業(予算、会場・事務用品準備、講義資料印刷、外部講師との事務連絡等)

- 企画・立案

- 運営・実施

-  • 評価・見直し

研修の評価

- 研修直前・直後（参考資料3）
 - 受講生の能力向上に関する事項
 - GIO, SBOsの改善状況
 - グループワーク成果物、試験
 - 研修の運営に関する事項
 - 全体の満足度、その他
 - 個別講義の評価
- 研修1～2年後（毎年ではない）
 - 研修の効果
 - 派遣元および受講者本人
 - 研修修了後の、事業評価および評価支援の実施状況等

担当者反省会
評価報告書
(参考資料4)

↓
分野小委員会による
レビュー

↓
短期研修委員会

↓
教務会議

↓
翌年度計画の見直し

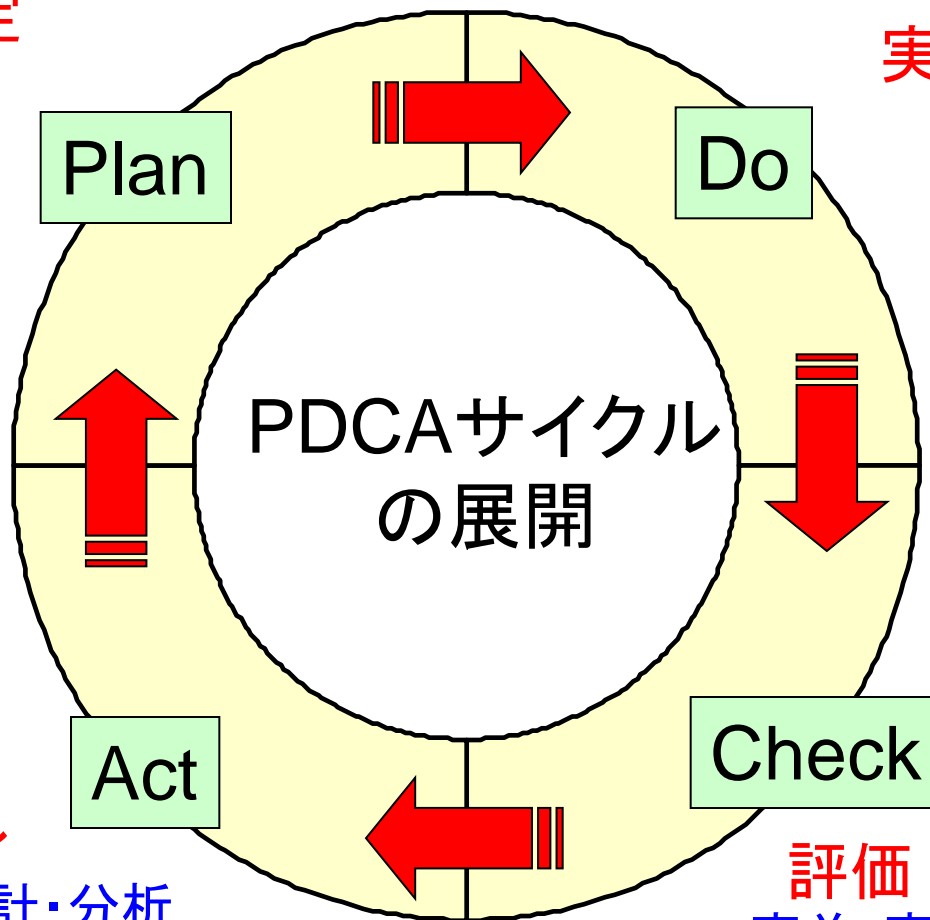
1. 研修修了後、受講生ご本人が、下記を(一部分でも)担当しましたか。該当する番号全てに○をつけてください。その際に困った点があればご記入下さい。

(XX年度受講者)

1) 保険者が行う「特定健診事業・特定保健指導事業」について、地域(都道府県)レベルで事業を評価・分析し、課題を把握した。	29(45.3%)
2) 特定健診・特定保健指導事業の企画・立案2) 地域(都道府県)レベルでの特定健診事業・特定保健指導事業の課題を改善するための、保険者への支援を行った。	32(50.0%)
3) 無回答	22(34.4%)

科学院の研修における PDCAサイクル

目標の設定
計画作成
主任・副主任
厚労省協議



実施

主任・副主任
外部講師、厚労省
研修・業務課

見直し

アンケート集計・分析
反省会
評価報告書

評価

事前・事後アンケート
フォローアップ・アンケート

まとめ

- 特定健診・保健指導事業のPDCAサイクルの中で、
 - どの部分がうまくいっていないのか？
 - その改善のために必要な人材と能力は？
- 研修の企画・立案、実施、評価・見直し
 - ニーズの把握
 - 一般目標、到達目標、対象者
 - 具体的な実施内容
 - 評価・見直し